



TOPICS

▶前市議会議員 若尾きみえの活動と市政報告

防災計画見直しに向け、活動開始／新しいまちづくりに向けて、アンケート調査をスタート！
第2回目の放射線測定を実施／放射線測定調査が、市の391カ所の施設で実施に
学童保育の問題が急浮上。やっぱり、財務と労務のモニタリング制度は必要

ごあいさつ

今年も次に向けて元気に活動していきます。 身近なことから、地域から！

議席を失ってから8ヶ月余り。温かい励ましをたくさんいただき、本当にありがとうございます。

本 会議や委員会の傍聴などを通して、気づいたり、疑問に感じたりすることもたくさんあります。議場で発言できないのはとても残念ですが、今後も、市政の最新情報をキャッチし、地域での活動に生かすとともに、皆さんへの情報発信や行政交渉など行っていきたいと思えます。

今年は、市長交代となり、新しいまちづくりをしていく節目の年となります。「みんなの心と体と、八王子のまちが元気に」なるまちづくりをめざし、みなさんのお声を聞きながら、今年もしっかりと活動をしていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

前市議会議員 若尾 きみえ

前市議会議員 若尾きみえの活動と市政報告

1 防災計画見直しに向け、活動開始

- ◎若尾きみえと生き生き市民会議で、防災チームを立ち上げ、行政ヒアリングをしました。
- ◎震災の教訓を生かし、実効性のある防災計画の策定を！

私は、昨年8月、仙台市や石巻市などの被災地を視察し、秋には地域の防災訓練や意見交換会にも参加しました。地域での防災意識の高まりを感じますが、行政の情報発信が不十分なことも痛感しています。首都直下型地震が

30年以内に発生する確率は70%。震災の教訓を生かし、災害発生時の行政の迅速な対応体制をつくっていくこと、そして、被害を小さくする「減災」に向けた視点で、より実効性のある防災計画の策定をしていくことが必要です。

- ◎大げがをしないよう、自宅の耐震化と家具の転倒防止対策を！

市内には常備消防として消防車15台、救急車9台がありますが、日常的に不足した状況です。

非常備消防として、消防団の消防車も89台ありますが、大震災となれば、対応には限界があり、建物倒壊などで道路が封鎖されれば、車がたどり着けない可能

性もあります。まず命を守る。そして、すぐに手当が受けられないことを想定し、大げがをしないようにすることが重要です。

今一度、自宅の敷地や建物の耐震性、家具の転倒防止対策の点検をしてみませんか。



◎谷戸のたんぼの稲刈りに参加



◎第2回放射線測定



◎被災地石巻市の海辺で奇跡的に残った教会の前で



◎横山南市民センターでの防災訓練に参加

◎家庭にも消火器の備えを！地域づくりも大きな課題

阪神大震災では、住宅火災に巻き込まれ焼死した方もたくさんいました。初期消火が重要ですが、消火器がない家庭も多く、家庭内に消火器の設置を進めていくことが必要です。

また、行政ができることの限界を認識し、救助や消

火活動などの助け合いができる地域をつくっていくことも今後の大きな課題です。

今後も防災に強いまちづくりを進め、安心して暮らせるよう、しっかりと情報収集をし、行政への働きかけなど情報発信をしていきたいと思います。

防災講座 「命と財産を守るために 自宅の耐震性は大丈夫？」

～住宅の耐震性確保にむけて・敷地のよう壁調査のやり方など～

お知らせ

日時／2月18日(土) 14:00～16:00

場所／東急スクエアビル11F スカイラウンジクレア 参加費／700円(飲み物・資料代)

講師／木川 欣一さん(土木関係の専門家です) *申し込みは下の連絡先、若尾きみえと生き生き市民会議まで

新しいまちづくりに向けて、アンケート調査をスタート

皆さんからご意見・ご提案を頂きながら、今後の政策づくりや行政交渉をしていきます。ぜひアンケートにご協力ください。ホームページからもご回答頂けます。

第2回目の放射線測定調査を実施

若尾きみえと生き生き市民会議では、放射能汚染の実態把握として、市の調査に先駆け、放射線測定グループを立ち上げました。11月4日の第2回目の調査では、市内22カ所、55拠点で測定。測定結果は、ホームページにてご覧ください。



◎放射線測定調査が、市の391カ所の施設で実施に

子どもたちに関わる市の施設に対し、放射線測定を実施するよう要望が、議会でも再三上がってきました。遅れている市の取り組みに対し、私も所管に測定実施の申し入れを行いました。ここにきて、市は、小中学校や学童保育、保育施設、公園など、391カ所の市施設の空間放射線量の調査を実施し、12月広報でお知らせがありました。ようやく前進しました。

2 学童保育の問題が急浮上

◎自主学童クラブで補助金不正支出！

横山町学童クラブの運営団体が、過去5年間にわたり、勤務実態のない人物に人件費を支出し、備品購入でも虚偽の報告を行っていたという、補助金の不正支出事件が明らかになりました。

市の補助金返還命令に対し、相手方の運営委員会は、「過去の書類は紛失した。返還する理由がない。」としています。この運営団体の代表は現職市議の父親であり、政治倫理条例の兼ね合いから見ても課

題を指摘する声が、12月議会であがりました。

性善説のもとで、厳しい監査が行われていない補助金制度に対し、作為的な不正が行われたことを受け、児童青少年課は「モニタリングの精度を上げることが課題」としています。横山町学童クラブは、今後改善に向け公設民営化されますが、今回の事件を受け、学童保育の信頼回復に向けたさらなる取り組みが必要です。

◎やっぱり、財務と労務のモニタリング制度は必要

私は、昨年の12月議会で、学童保育所の指定管理者制度の問題を取り上げ、保育サービスの質と労働環境の確保に向け、制度の提案をしました。

第三者評価制度については、実現し改善が図られて

きました。財務と労務のモニタリング制度の導入についても、今後市が取り組むべき大きな課題と言えます。今後も早期実施を求めて発信していきます。

あなたのご意見・ご提案をお気軽にお寄せください！

若尾きみえと生き生き市民会議

〒193-0833 八王子市めじろ台3-19-14

E-mail: info88@wakaokimie.jp

TEL&FAX 042-668-1020

HP <http://wakaokimie.jp>  若尾きみえ

若尾きみえプロフィール▶1964年岡山県生まれ、岡山大学教育学部卒業 ▶職歴

／岡山市立幼稚園にて教諭、結婚を機に退職後、仙台市、富山市にて英会話講師

▶活動歴／八王子市環境基本条例制定に向けて活動、八王子市ゆめおり市民会議環境分科会メンバー、八王子市西南部環境市民会議会員、2003年市議会議員初当選後、市議として2期活動、めじろ台を起点に高齢者福祉・医療問題に取り組む